

2019 年 度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 I M A G I N U S

1 事業の成果

今年度は、JICAによる草の根技術協力事業がインドで実施されることになったため、人員を増やして国際協力活動に注力した。国内事業としては、例年通りフィリピンにてスタディツアーを開催し、参加学生がチームを組んで課題解決のためのプロジェクト提案が行われ、協働の学びの場が提供できた。次に、10月に起きた台風による災害支援では有志で長野県へ物資支援とボランティア活動を行った。海外事業としては、上記のインド事業のほかに、フィリピンにて地元の人々の収入向上プロジェクトを継続するための拠点としてカフェをオープンするための準備が進められた。スタッフと予算規模を増やしプロジェクトの拡大を目指したが、2020年2月頃より世界的に拡大するコロナ感染予防の規制により、活動を一時中断している状況である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (単位：千円)
人材育成事業	スタディツアー フィリピンのネグロス島にてスタディツアーを実施した。参加学生がチームを結成しフィールド調査を通して課題分析を行い、デザイン思考を用いて課題解決のためのプロジェクト提案を行った。	19年 8月	フィリピン	2名	参加者8名	2,044
	インターン受け入れ フィリピンでの事業においてインターン生を受け入れた。また、フィールド調査の指導ならびに助言を行った。	6月～ 8月～ 9月～ 1月～ 2月～	フィリピン	2名	インターン生 2名 5名 3名 3名 1名	
	古民家を活用した学び作り 古民家を改修した図書室スペースについては、月～土の10時～15時で開室し、地域内外の方々が利用。また、蔵を改修して“だれもが使えてだれもが学べる”ことをコンセプトにしたモノづくりスペース“つくれば工房”を開設。	基本 月～土 随時	国内 (広島)	1名	多数	
国際協力事業	児童保護事業 インド西ベンガル州ニュージャ	通年	インド	現地ス タッフ	施設利用者数 延べ1000名	3,361

	ルパイグリ駅周辺の女兒を保護するためのシェルターの継続運営。			2名 日本人 スタッフ1名		
	<u>NGO へのキャパシティ・ディベロップメント研修事業</u> JICA 草の根技術協力事業の受託を受け、インド、ダーズリン・シリグリにて、児童保護に係る現地 NGO スタッフを対象に開催した。	6月～	インド	日本人 スタッフ 8名	研修参加者 延べ60名	
	<u>村落開発事業</u> フィリピンネグロス島において経済的に厳しい状況になる農村家庭を対象とし産品開発を行った。現在はソーシャルカフェをオープンさせようとしている。	通年	フィリピン	現地 スタッフ2 名 日本人 スタッフ 2名	産品開発を共 に行っている 現地の人12名	
	<u>研究活動</u> フィリピンにおけるフィールド調査アシスタントを行った。	4月	フィリピン	1名	—	
ボランティア活動事業	<u>災害時ボランティア活動</u> 長野県で10月に起きた台風による災害の復興支援活動を行った。 災害支援学生団体アイリスとの定期的なコミュニケーション。	11月	国内（長野）	2名	参加者4名 支援した被災者の方	<u>163</u>
上記事業に関連した情報提供	団体ホームページの運営 Facebook を通じた情報発信 活動報告会	通年 10月	ネット上 国内（広島）	1名 2名	ホームペー ジ、Facebook 閲覧者 参加者	<u>53</u>
その他の事業	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>